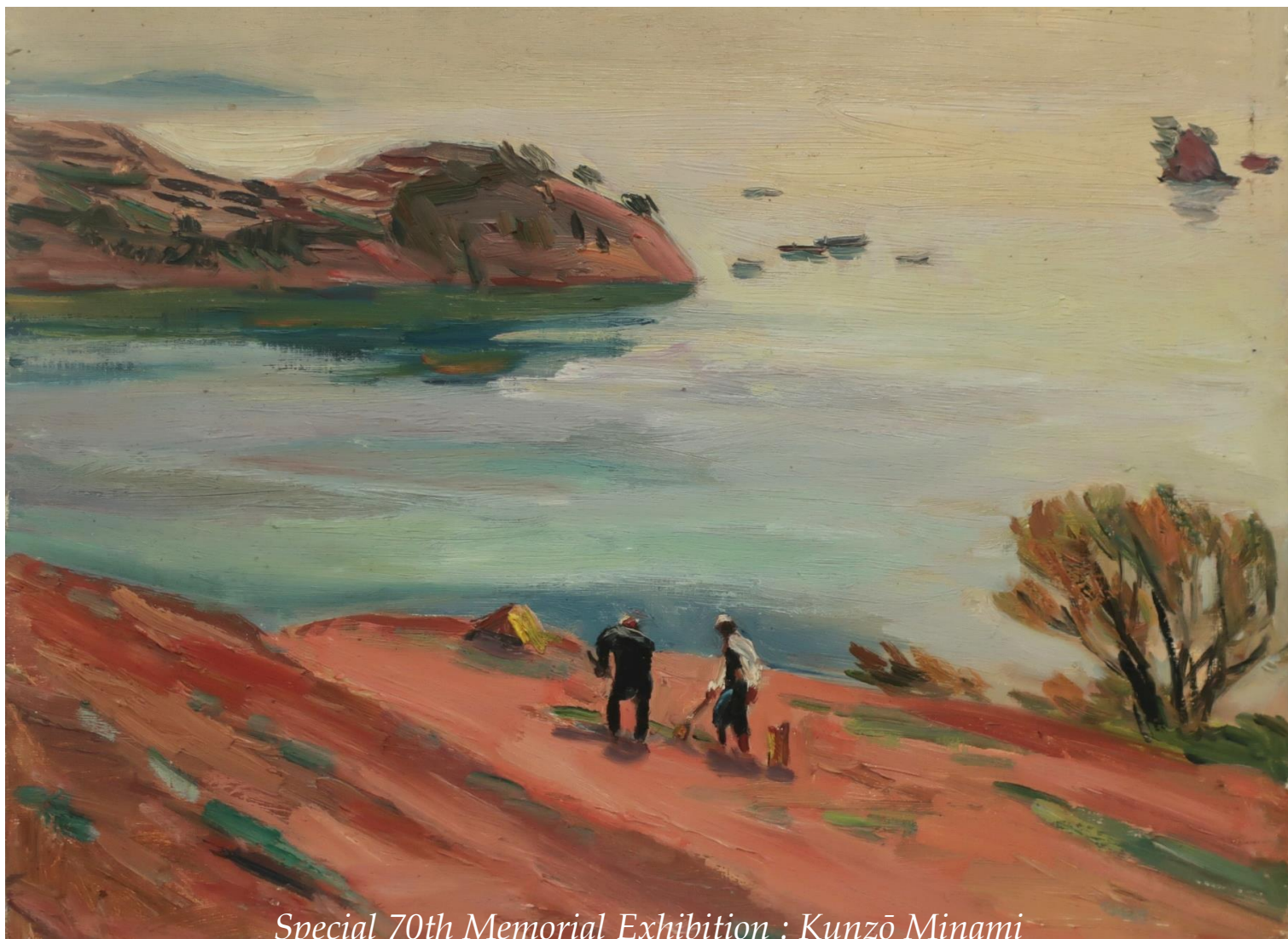


没後70年 南薫造展 I

# —瀬戸内の魅力—



Special 70th Memorial Exhibition : Kunzō Minami

南薫造《風早近傍》1948年

2020.10.3(土)－2021.1.31(日)

開館時間：9:00-16:30

休館日：火曜日(11/3は開館, 11/4, 12/27-1/5は休館)

観覧料：一般200(160)円、高校生120(100)円、小・中学生80(60)円

\* ( )内は20名以上の団体料金。呉市に在住、または通学する小・中・高校生は無料。

\* 呉市いきいきパスをお持ちの方、障害者手帳等をお持ちの方は無料(要証明書)

\* 広島中央地域連携中枢都市圏(竹原市・東広島市・江田島市・熊野町・海田町・坂町・大崎上島町)に在住または通学する小・中・高校生は無料。

南薫造記念館

KUNZO MINAMI MEMORIAL MUSEUM

〒737-2519

呉市安浦町内海南2丁目13-10

TEL(0823)84-6421

没後70年 南薫造展 I

# 瀬戸内の魅力

広島県賀茂郡内海村(現在の呉市安浦町)に生まれた南薫造(1883-1950)は、東京美術学校(現在の東京藝術大学)で西洋画を学び、卒業後はイギリスに留学、フランスやヨーロッパ諸国を巡って研鑽を積みました。「印象派風」と評される、輝く光に満ちた色彩で多くの作品を残しましたが、中でもとりわけ好んだのが瀬戸内の風景でした。穏やかな青い海、美しい島影、波に漂う帆船、豊かに実る大地やそこで働く人々などを、詩情あふれる筆致でおおらかに描きました。

2020(令和2)年は、南薫造の没後70年という節目の年にあたります。南薫造記念館では、近年収集した作品を中心に三部構成の特別展を開催します。第1期のテーマは「瀬戸内」。南が愛した瀬戸内の魅力をひもときます。



1 《農村風景Ⅱ》1947年頃



2 《まき割り》1946年頃  
呉市立安浦小学校蔵



3 《須波風景》1946年



4 《海上の漁船》1930年頃

1～4南薫造作、所蔵の表記のないものは南薫造記念館蔵

**小企画①** 南薫造のパレット-画材から筆記用具まで-  
10月28日(水)-2021年3月15日(月)  
南薫造が愛用したパレットを初公開するほか、イーゼル、絵具、硯、墨、鉛筆、パステル等様々な画材を展示します。

**小企画②** 南薫造水絵集 -画集で見る水彩画-  
8月26日(水)-12月21日(月)  
大正7年に発行された『南薫造水絵集』とその関連資料を展示します。

**小企画③** 画家の自筆原稿を読む②-『大久保の逃げ水』ほか-  
7月29日(水)-2021年2月22日(月)  
南薫造が実際に体験した夏の自然現象「逃げ水」について書いた自筆原稿などを展示します。

## 【関連イベント】

①お気に入りの作品に投票しよう！(会期中随時開催)  
心に残る南作品に投票してください。  
投票してくれた方の中から抽選で、南薫造に関する書籍をプレゼントします。

②ガーデン・コンサート  
日時：10月31日(土)13:30～  
演奏者：宮原律さん(フルート)  
参加費：無料(入館料が必要) 定員：20名(先着)

③スライドトーク&アートカフェ  
日時：11月1日(日)14:00～  
解説：学芸員 カフェ協力：安浦町まちづくり協議会  
参加費：1人500円(入館料込)  
申込み：電話0823-25-3462 定員：15名(先着)



# 南薫造

Kunzō Minami

南薫造(1883-1950)は、医者長の長男として広島県賀茂郡内海町(現・呉市安浦町)に生まれる。東京美術学校(現・東京藝術大学)に学び、卒業後はイギリスに留学。帰国後は文展、帝展などで入選を重ね、優雅で温かな画風が高く評価され、帝国芸術院会員や帝室技芸員として活躍した。母校・東京美術学校では教授として後進の指導に当たり、多くの芸術家との交流を通じて日本洋画の発展に貢献した。戦時中から郷里・安浦に居を移し、戦後は広島の美術の発展に尽力しながら、瀬戸内の風景を多く残した。



## 【アクセス】

### ■車利用の場合

呉市内から国道185号線を竹原方面へ。クリアライン 呉ICより約60分。敷地内の無料駐車場をご利用下さい。

### ■JR利用の場合

JR呉線安浦駅下車、徒歩約900m

## 南薫造記念館

KUNZO MINAMI MEMORIAL MUSEUM



@minami\_kunzo

〒737-2519 呉市安浦町内海南2丁目13-10

TEL(0823)84-6421